

一般財団法人日本心理研修センター主催「平成 28 年度春季研修会」
～これからの心理職に必要な教育研修を考える～

諸領域における心理支援の新たな展開のために

2017 年 9 月には公認心理師法が施行される予定です。これまで心理職が導入されにくかった諸領域でも、ニーズの拡がりが見込まれます。日本心理研修センターでは、社会の求めに応じて信頼される視野の広い心理職およびその指導者を育成するために、多様なテーマで研修会を開催いたします。

【開催日】平成 29 年 3 月 4 日（土）、3 月 5 日（日）（受付開始予定時刻：両日とも午前 10 時）

【会場】跡見学園女子大学ブロッサムホール（東京都文京区大塚 1-5-2、茗荷谷駅より徒歩 2 分）

【定員】合計 約 800 名

【参加費】1 講座 7,000 円

【参加資格】臨床心理士、臨床発達心理士、学校心理士、特別支援教育士、他の心理系学会認定資格者、心理職実務者、守秘義務のある専門職、心理学関連大学院生

【申込予約】一般財団法人日本心理研修センターホームページより（<http://shinri-kenshu.jp/>）

【共催】一般社団法人日本臨床心理士会、一般社団法人学校心理士認定運営機構・日本学校心理士会、日本臨床発達心理士会、一般財団法人特別支援教育士資格認定協会

【後援】一般社団法人日本心理臨床学会、日本人間性心理学会、一般社団法人日本発達障害ネットワーク、（予定）一般社団法人日本認知・行動療法学会、一般社団法人日本発達心理学会、一般社団法人日本 LD 学会、一般社団法人東京臨床心理士会

<3 月 4 日（土）> プログラム第 1）これからの心理職に対する教育研修の展開について考える

- (1) 10:30～11:00 実務指導者養成にむけて指導者養成のための研修の課題
～コンピタンスをどう考えるか～ 【講師】岩壁 茂（お茶の水女子大学）
- (2) 11:00～12:15 教育における実践事例とその検討
【事例提供】石川 悦子（こども教育宝仙大学） 【コメンター】長岡 恵理（早稲田大学大学院）
(昼休み 12:15～13:15)
- (3) 13:15～14:30 福祉における実践事例とその検討
【事例提供】古谷 みどり（児童養護施設 光の子どもの家）
【コメンター】増沢 高（子どもの虹情報研修センター）
- (4) 14:40～15:55 医療における実践事例とその検討
【事例提供】淵上 奈緒子（平川病院） 【コメンター】江口 重幸（東京武蔵野病院）
- (5) 15:55～16:15 支援が本当に当人の支援になるために必要な 5 つの留意点 【講師】江口 重幸（前出）
- (6) 16:15～16:40 【まとめ】岩壁 茂（前出）

<3 月 5 日（日）> プログラム第 2）医療における公認心理師の課題

- (1) 10:30～12:00 医療における公認心理師の課題 【講師】宮岡 等（北里大学医学部精神科、東病院長）
12:00～12:40 宮岡先生のお話を受けて 【講師】花村 温子（埼玉メディカルセンター）
12:40～13:00 質疑&ディスカッション（宮岡、花村）
(昼休み 13:00～14:00)
- (2) 14:00～15:30 発達障害をかかえて生きる 【講師】井上勝夫（北里大学医学部精神科）
15:30～16:10 井上先生のお話を受けて 【講師】村瀬嘉代子（日本心理研修センター）
16:10～16:30 質疑&ディスカッション（井上、村瀬）

上記プログラム（講師、テーマ、時間等）は予告なく変更される場合があります。最新のプログラムはホームページをご覧ください